

学習内容報告書 フォーマット

学校名	日南市立南郷中学校
授業者	齋藤 秀一

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

港の町南郷を知る活動（シーカヤック体験学習）

1-2. 学年

1 学年 2 学年 3 学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間 学校の行事

1-4. 単元の概要

- ・ シーカヤック体験学習を通して、地域の豊かな自然についての理解を深めるとともに、南郷の美しい海と環境について考え、活動している人たちの思いや努力を知る学習。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

漁業が盛んな地域に生まれた育った生徒が多いが、豊かな自然の中でその良さを生かしたシーカヤック体験ができるビーチで、実際にその体験をした生徒は少ない。そこで、NPOの方々との協力の下、貴重な体験をすることを通して、身近にある豊かな海を中心とした自然に触れ、地域の良さを見直す機会にしたい。また、地域の豊かな自然のために活動している方々と実際に触れ合い、その思いや努力の様子、生き方を考えることを通して、自分の生活や生き方に活かしていこうとする態度を育成する機会にすることをねらいとしている。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ・ 身近な地域の良さに触れ、改めて地域のことを主体的に考えようとする態度を育成する。
- ・ 地域に生きる人たちの生き方から学び、自分のこれからの進路や生き方について積極的に考えようとする態度と姿勢を育成する。

1-7. 単元の展開（全5時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
2	1 年生シーカヤック研修（7 / 1 2） ①講師紹介（6 名来校） ②講師あいさつ（全員） ③シーカヤックについての説明 →DVD視聴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前に朝の会等で、講師の方へのあいさつ、話を聞く態度などについて指導を行った。 ・ しっかりとした態度でDVDを視聴しながら話を聞くことができた。 ・ NPOの方々と連携し、会の進行を行った。

<p>2</p>	<p>⑤学級別研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救命胴衣着用とパドリング練習 ・カヤック乗降練習  <p>【シーカヤック研修の様子】</p> <p>⑥お礼のことば（生徒代表あいさつ）</p> <p>⑦研修のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修の感想書き ・研修のお礼状書き 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級の班ごとに行う研修をNPOの方々為主となり協力して行った。 ・プロジェクターでの説明（DVD）を実施。 ・実際のシーカヤックやパドルをNPOの方々に持参していただき、1年生全員（70名）が具体的な練習を行った。 ・初めての体験になる生徒もおり、時に真剣な話を真剣に受け止め、本番を意識した練習を行うことができた。
<p>3</p>	<p>シーカヤック体験学習</p> <p>1年（7／14・15）</p> <p>2年（7／14・15）</p> <p>3年（7／9）</p> <p>①移動（栄松ビーチへ）</p> <p>②着替え・準備</p> <p>③シーカヤック体験活動</p>  <p>【シーカヤック体験活動の様子】</p> <p>④片付け・着替え</p> <p>⑤移動（学校へ）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に帰りの会等で、準備物や体験の注意点について指導を行った。 ・NPOの講師の方々を中心に、注意点の確認をした後、サポート役を務めていただきながら、シーカヤック体験を実施した。 ・生徒の安全に配慮した指導を行った。当日見学者のためや不測の事態に備えるため、陸上待機の教師とシーカヤック体験に随伴する教師に分かれて体験を実施した。 ・生徒は1人乗りと2人乗りに分かれてシーカヤックに乗船した。2人乗りの生徒は互いに協力し合って体験した。1人乗りの生徒も、コースの中で互いに漕ぎやすさや進みやすさを考えて体験を進められた。 ・生徒自身が安全を考え、適切な行動、判断をしながら体験を進めることができた。様々な方の協力の下、シーカヤック体験が実施できることを実感し、感謝の気持ちを持ちながら、お礼のあいさつや片付け等の全ての活動を行った。

2. 学習活動の実際

2-1. 単元における位置づけ


単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

- ・ 大自然の中でシーカヤックに親しみ、楽しさを実感させる。また、生涯にわたってスポーツに親しむ習慣を養う。
- ・ 体験を通して、生徒同士や教師、地域の人との触れ合いを深め、望ましい人間関係を醸成し、感動や協調性、成就感、忍耐力など豊かな心を育む。
- ・ 体験を通して、ふるさと南郷の自然のすばらしさを体感させ、よりよい環境やふるさとをつくっていかうとする態度や意識を高める。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点 (方法)
<p>1 講師からシーカヤック体験についての説明を聞き、注意点などを確認する。 →真剣な態度で話を聞き、安全確認と準備を適切に行うことができた。</p> <p>2 シーカヤックの準備をし、1人乗りと2人乗りに分かれて乗船し、シーカヤック体験を行う。 →自分たちが乗船するシーカヤックを確認し、協力して出発の準備を行った。</p> 	<ul style="list-style-type: none">・ 事前に注意をうながしながら、講師の話と一緒に聞き、内容を生徒共に確認した。・ 講師の話をしっかり聞くことができたか。(観察)・ 1人乗りと2人乗りの生徒の確認をし、全ての生徒の乗船を確認した。・ お互いに協力して救命胴衣の確認や乗船の確認をすることができたか。(観察)・ 安全を確認しながら、シーカヤック体験を進めることができたか。(観察)
<p>【シーカヤック体験活動の様子】</p> <p>3 シーカヤックの片づけを行い、着替える。 →それぞれが使用したシーカヤックや救命胴衣、パドルの片づけを積極的に行った。協力してシーカヤックの移動を行う姿があった。</p> <p>4 まとめの話聞き、お礼を述べる。 →感謝の気持ちをもって話を聞き、お礼を伝える様子が見られた。</p>	<ul style="list-style-type: none">・ 重量のあるシーカヤックの片付けが安全にできるように注意しながら指導した。・ 協力して、シーカヤック体験の片づけを行うことができたか。(観察)・ 全体指導、代表生徒の指導を行った。・ 感謝の気持ちを態度で表すことができたか。(観察)

3. 今回の活動の自己評価

- ・ コロナ禍の中、様々な活動が制限される中で、シーカヤック体験活動を計画的に実施することができたことが一番の評価できることである。
- ・ 地域に体験できる場所があったとしても、実際にシーカヤック体験をしたことがある生徒は少なく、多くの生徒にとって、地域の自然の素晴らしさを改めて実感する貴重な機会になった。
- ・ シーカヤックを通して、地域の自然を守り、育てていこうと活動している方々の思いや生き方に触れ、感謝の気持ちをもつと共に、自分の生き方や将来の目標について考えることができる機会になった。

4. 今後の課題

- ・ シーカヤック体験活動が今後も継続できるように、NPOの方々と連絡調整し、協力しながら進めていく必要がある。シーカヤック体験活動は、1年に一度の体験であるので、貴重な体験で感じたことを更に広げたり、深めたりすることができるように事後指導や、それ以外の学習につなげていく工夫が重要になる。シーカヤック体験を中心に置きながらも、それを活用し、生徒のキャリア教育が充実するような取組に高めていかなければならない。南郷中学校の特色ある活動として守りながら、南郷の良さを知り、自分の生き方に活かすことができる学習として継続していかなければならない。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

- ・ 特になし

※実施した單元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS明朝、10.5ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。